



梅田中だより

<第3号>

6月

クリーン作戦 お世話になりました！

地域施設の清掃に取り組むことで、生まれ育った地域への愛着を育むことを目的に、5月20日（金）にクリーン作戦を実施しました。コロナ感染症拡大防止のため、なかなか地域に出での活動はできませんでしたが、本年度は集会所清掃の復活です。

集会所の清掃中に「小学生の頃、(育成会の行事で)この集会所に集まって……。」そんな昔話もちらほら。生徒達も地域とのつながりを実感する時間だったのではないのでしょうか。

また、1～3年生の縦割りでの活動のため、3年生が中心となって取り組んでくれました。3年生が模範となって取り組む姿が、梅田中の伝統となってくれることを期待しています。



集会所の鍵の開け閉めや感謝の言葉をいただくなど、町会長をはじめとする、各町会の皆さま、本当にご協力ありがとうございました。

タブレット活用 (リモートで国際交流・お別れ会)



グアムの生徒との国際交流 (画面)

タブレットを活用して、遠隔地との交流にも取り組んでいます。

【 グアムの中学生との交流会 】

A L T ダニエル先生の故郷グアムの中学生とリモートで国際交流を行いました。昨年度に引き続き、2回目の取り組みのため、前回より交流がスムーズです。グアムの生徒の中には日本語を学習している生徒もいます。ゲームはもちろん、最後のフリートークではおおいに盛り上がり、笑い声が上がっていました。また、伝えたい言葉の英単語を一生懸命に辞書を引く姿も見られました。このような取組みが英語習得の近道かもしれません。

【 昨年度の担任の先生とお別れ会 】

2年生では、転勤された旧担任の松崎先生とリモートで「お別れ会」を開催しました。学校が離れたしまったため(新里中へ転勤)、松崎先生と直接会って話すことはできませんが、画面を通じてクイズを松崎先生に出題し、おおいに盛り上がりました。最後にみんなで声を合わせてお礼の言葉を伝え、また松崎先生からも「みんなの活躍を応援しています。」というお話をいただきました。



2年生の転勤した松崎先生とお別れ会 (画面)

中間テストはどうでしたか？

本年度最初の間接試験が実施されました。1年生にとっては初めての定期試験。試験に向けて計画的な学習ができたでしょうか。梅田中学校では「家庭学習の計画と記憶」「チャレンジ50」「ワーク途中経過チェック」など、さまざまな取り組みを行っています。その目的は、試験に向けて自主学習の習慣を身に付けることです。お子様の取り組み方はどうだったでしょうか？

定期試験というと点数に目がいきがちですが、大切なのは定期試験に向けてどう取り組むことができたかです。自分で目標を立て、実現に向けて計画的に取り組むことができたか（計画力）。試験に向けて粘り強く取り組むことができたか（忍耐力、グリット）。目標に向けて自分を律することができたか（自己制御力）。……定期試験に向けた勉強を通していろいろな力（非認知能力）を訓練しているのです。また、お子さんと試験（結果）について話すときには、ぜひ、取り組みの良かった点について褒めてあげてください。そして、もし、思うような点数がとれなかった時には、「学習時間」「やる気」「学習方法」の何が原因なのかを振り返らせてください。ただし、問い詰めるような厳しい口調は避けてください。本人が自覚する（気づく）ことが大切です。勉強でもスポーツでも、外的動機付け（義務や賞罰、強制による動機付け）は、内的動機付け（本人の内側から起こる動機付け）にかないません。本人が「頑張りたい！」と思わせることが大切です。

土砂災害避難訓練

5月20日（金）土砂災害の避難訓練を実施いたしました。授業を受けている最中に土砂災害が起こり、A棟3階に垂直避難するという設定です。どの生徒もおしゃべりをせず、しっかりと取り組んでいました。

訓練の後は、町会に分かれてのグループワークです。自分たちの住んでいる地区の地図（桐生市土砂災害ハザードマップ「各町会版 自主避難計画」）を使って、危険がありそうな場所、過去に危険だった場所、いざというときに避難する場所などを確認しました。

大雨で土砂崩れが発生…。あなたが取るべき行動は？ -防災行動ガイド 2020-05-13 ソフトバンクニュースより https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20200513_01

避難のタイミングは、お住まいの地域に土砂災害警戒情報が発表されたときや、自宅付近で「土砂災害の前兆現象」を確認できたとき。土砂災害のリスクがあるときは、速やかに自宅から離れることが大切です。移動することがかえって危険な場合は無理に避難場所へ向かおうとせず、近隣の比較的高い頑丈な建物へ避難するか自宅に留まる方が安全な場合もあります。その際は、2階以上で、がけや斜面の反対側にある部屋に避難することがポイント。助かる確率が格段に高くなります。実際の土砂災害の被害でも、がけ側に面した家の一部だけが被害に遭い、反対側にいた方が無事だったということがあります。

《 土砂災害の前兆 》

がけ崩れ

- ① 斜面にひび割れができる
- ② 砂や小石が落ちてくる
- ③ 斜面から水が湧き出る
- ④ 斜面から音がする

地すべり

- ① 地面がひび割れたり、陥没したりする
- ② がけや斜面から水が噴き出す
- ③ 沢や井戸の水が濁る
- ④ 山鳴り、地鳴りがする
- ⑤ 樹木が傾く

土石流

- ① 山鳴り、地鳴りがする
- ② 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ③ 土の腐った匂いがする
- ④ 大雨が続いているのに、川の水位が下がる
- ⑤ 木の裂ける音や石がぶつかる音がする

